

# 日本の海岸線を歩く会 歩行報告

2019年 1月 6日

報告者：友松知宏

## 1. 計画の概要

ブロック名	九州
計画区間詳細	スタート地点：関門トンネル入口（下関市、人道トンネル壇ノ浦側入口） ゴール地点：JR博多駅
実施期間	1) H30年11月18日（日）～11月21日（水） JR門司駅～JR博多駅 2) H30年12月21日（金） 関門トンネル入口～JR門司駅
概算歩行距離	112.2Km

今回歩行の記念的な関門トンネル人道を後から参加する妻和子と一緒に歩くため、最終日に門司⇒下関を歩くことにしていたが、2日目に宿泊した芦屋町の歴史民俗資料館で興味を惹く企画展があり、それを見るため門司～下関を後日歩くことにして、2回に分けることになった。

## 2. メンバー表

No.	役割・分担	氏名	ワゲル期	備考（ワゲルとの関係等）
1	リーダー・記録	友松知宏	8期	090-7774-8559 78歳
2	会計	友松和子(79才)		友松の妻 79歳

## 3. 歩行概要

	月日	出発地～	到着地	歩行距離	歩行参加者	備考（宿泊）
1	11月18日	JR門司駅～戸畑初音町＝JR陣原駅～八幡駅		18.8Km	友松	ビジネスホテル初音
2	19日	初音町～八幡駅＝陣原駅～芦屋町魚見山		25.3	友松	国民宿舎マリンテラス
3	20日	～松ヶ台3丁目～神湊港～福岡駅～JR博多駅		39.5	友松、和子	サンビジネスホテル
4	21日	＝JR箱崎駅～福工大前～福岡駅＝遠賀川駅		19.7	友松、和子	芦屋町民俗資料館
5	12月21日	下関壇ノ浦海岸～関門トンネル人道～JR門司駅		8.9	友松、和子	

計) 112.2Km

## 4. 地図



## 5、詳細説明

### 第1部 JR 門司駅～JR 博多駅

1日目（11月18日）くもり一時雨

JR 米子駅 05:32＝岡山＝小倉駅 9:42＝10:05 門司駅 10:10～小倉駅前～15:50 戸畑／ホテル初音（12.0Km）

荷物をホテルに預け戸畑駅 17:10＝17:40 陣原駅～19:00 八幡駅 19:10＝19:20 戸畑駅／ホテル初音（6.8Km）

小倉駅までは順調に進んだが、そこからから戸畑駅間は高速自動車道の下に一般道が重なり、上下の道路が絡みあいながら蛇行。地図が判読しづらく、2度ほど引き返す。1度は新日鉄工場に迷い込み、会社の方に案内してもらって線路下の地下道から九州工大のキャンパスを抜けて県道199に出た。九州工大キャンパスで雨。1時間遅れで戸畑駅前のビジネスホテル初音に到着。

宿に荷物を預け、戸畑駅から鹿児島本線下りに乗り、陣原駅まで行き、そこから県道を引き返す。戸畑まで歩くつもりであったが、遅くなり、八幡駅で乗車。戸畑に戻る。

2日目（11月19日）くもり

ホテル初音 07:30～8:10 スペースワールド前～8:50 JR 八幡駅（4.3Km）

八幡駅 9:10＝（鹿児島本線）＝9:30 陣原駅 9:40～10:20 カ丸町セブンイレブン（トイレ休憩）～11:00 本城球場前ファミリーマート（弁当購入）～11:50 頓田貯水池排水処理場～12:10 浮橋前広場（昼食）12:50～14:00 安屋花房小学校前～15:20 遠見ヶ崎入口 17:10 芦屋町歴史民俗資料館～17:30 国民宿舎マリンテラス（21.2Km）

スペースワールド（宇宙テーマパーク）～前を歩く。人影がなく、休館日かと思っていたら、重機がかしこで動いており、解体作業中であることに気がついた。（夜、TVで分かったのだが）その日スペースシャトルの模型の解体が始まり、カメラがたくさん並んでいた。

陣原駅を出たところにごみや生活排水の処分場が集まっており、その先にセメント工場。煙が出ておらず、何となく暗い。先刻見たロケットの処分工事を思い出した。



スペースワールド



解体されるスペースシャトル



皇后崎のセメント工場

本城のファミリーで弁当を買い、提げて頓田貯水池まで歩く。遠賀川の水を汲み上げて溜めている。中央を道路が仕切って第一、第2の二つの貯水池に別け、その結合点に浮橋がかけられている。休憩場で昼食。隣に緑地や動物ワールド（カンガルー放し飼）があり、サイクリングロードも整備されて市民の憩いの公園。遊歩道が網の目のようにあり、散策中の人に訊きながら公園を歩く。



頓田貯水池 休憩場



緑の浮橋

17:10 芦屋町歴史民俗資料館。間に合えば覗いて見よう程度の期待であったが閉館。それでもと玄関口の展示案内を見てびっくり。江戸時代に芦屋の商家のおかみさん二人が江戸までの旅をして旅行記を残しており、地元の歴史研究家が蒐集した古地図と併せて展示。

行く先々、地民俗資料館は観るように心がけているが、これだけの内容を独自に企画展示する例はなく、閉館に間に合わなかったのが悔やまれるが後の祭り。向かいにある芦屋釜の里も興味をそそられるが、これも閉館。あきらめて国民宿舎にチェックイン。部屋は最上階で真下に遠賀川の河口。明日歩くコースが見える。



宿舎からの眺め(明日のコース)



国民宿舎 (翌朝撮影)

3日目 (11月20日) くもり⇒晴れ

第1区間 芦屋町国民宿舎～松ヶ台3丁目バス停 (友松)

芦屋町国民宿舎 8:00～サイクリングロード～9:55 はごろも橋～11:10 松ヶ台3丁目バス停＝バス＝11:28 JR海老津駅 (8.2Km)

サイクリングロードの中間あたりで、歩いてくる人に声をかけられた。昨日も出合ったと親しげに話しかけてくる。近くに住む荒巻さん。10分ほど話を聴いて、メッセージを書いてもらっているあいだに、も一人来られ、お二人の写真を撮らせてもらった。

はごろも橋を渡り雑木林を抜けると一面の田んぼ。イオンを目標にあぜ道を歩き、住宅街のなかの松ヶ台バス停に到着。



荒巻修志さん (右)



トランポリンパーク

第2区間 松ヶ台3丁目バス停～神湊港入り口バス停(和子)

前日(19日)米子駅前発 22:45=バス=JR 小倉駅 5:46=鹿児島本線=6:15 海老津駅 6:27=バス=6:45 松ヶ台バス停/ローソン(朝食) 7:20~8:80 芦田~10:30 織畑神社(鐘崎岬) 10:40~11:10 さつき松原入口~12:25 宗像道の駅(昼食) 13:00~13:20 神湊港入り口 13:43=バス=14:05JR 東郷駅 (16.0Km)

松ヶ台3丁目バス停近くのローソンでコーヒーと肉まんを朝食。国道を歩き、芦田交差点を右折。響灘を右手に潮風をうけて心地よく歩く。10:30 鐘崎岬の幡幟神社着。高い階段を上がり参拝。この岬から玄海灘に変わる。さつき松原の松林を過ぎ、12時半宗像道の駅で昼食。神湊からのバスが宗像神社前を通るが下車せず通過。ちょっと残念であった。



響灘(上)



幡幟神社(右)

第3区間 神湊港入り口バス停～JR 福間駅(友松)

JR 海老津駅 11:39=11:59 東郷駅=タクシー=12:20 神湊港入り口バス停 13:00~14:45 塩浜口~15:40 津屋崎~16:00 宮ノ元(ローソンで飲料)~17:30JR 福間駅 17:40=18:02 博多駅~18:15 サンビジネスホテル(12.1Km)

東郷駅からタクシー。神湊港入口のバス停で降り、運転手さんに聞いたちゃんぽんの店十時(ととき)に行く。座敷とカウンターで10人ほどの店。5人ほど先客。カウンターの空いた席に座り、チャンポンを注文。右隣りのご夫婦から声がかかる。ご主人の日高さんは島根県隠岐の島の出身、左隣りのご婦人も加わって盛り上がる。この時刻に到着するはずの和子に電話をすると、少し遅れて2Kmほど手前の宗像道の駅で食事をすると。日高夫妻に続き店をでる時、左隣りのご婦人が立ち上がって丁寧にあいさつを下さった。

1時間遅れ、道を急ぐ。津屋崎の街に入ったところで、小学生がしゃがみこんでいる。具合でも悪いかと立ち止まる。大きな亀がいた。どうやら道わきのクリークから迷い出てきたらしい。どうする?と訊くとわからないと言うので、学校の先生に訊いてみたらという、素直にそうすると応える。きっと元の河に戻してやったのでは?そんな感じの子であった。17:30 福間駅に到着。



ちゃんぽんの店十時  
亀を捕えた少年

#### 第4区間 JR箱崎駅～JR博多駅（和子）

JR 東郷駅 14:05＝鹿児島線＝14:56 箱崎駅 15:05～16:00 博多駅～16:30 サンビジネスホテル着（3.2Km）

JR 箱崎駅から再び歩行。車を避けてただひたすら歩くだけ。博多駅前のイルミネーションが美しい

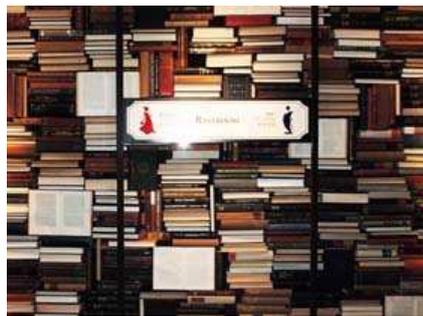
##### 〔夜の散策〕

友松・和子合流後、地下鉄で天神まで出て名物のゴマ鯖料理専門店で食事。鯖の刺身の茶漬けがうまい。

食後、街を歩き、地下街トイレに入ってびっくり。入り口の壁が書棚で内部は美術館。博多人はここでどんな思索をするのだろうか？



博多の夜ー1 ゴマ鯖専門のごま鯖屋場



天神地下のトイレ入口の壁面



入ると立派なアート展示

その後博多ラーメンの屋台に入り、一人で飲んでいた高尾隆一さんと盛り上がる。仕事で鳥取県の境港に時々来ていたとのこと。再会を約してお別れ。博多駅にもどり、駅前のイルミネーションを観る。



屋台で／高尾隆一さん  
とコーフ



天神屋台で  
2018/11/20



博多駅コ

#### 4日目（11月21日）くもり⇒晴れ

##### 第1区間 JR箱崎駅～九工大前駅（友松）

JR 博多駅 7:36＝鹿児島本線＝7:41 箱崎駅 7:45～8:35 貝塚駅前～10:05 九産大駅前～10:55 和白交叉点～11:15 福工大前駅 11:19＝鹿児島本線＝11:27 福間駅（和子と合流）（10.1Km）

##### 第2区間 JR九工大前駅箱崎駅～福間駅（和子）

JR 博多駅 7:43＝鹿児島本線＝7:44 福工大前駅 8:00～10:30 福間駅（弁当購入） 11:27（友松と合流）（9.6Km）  
車を避けて国道の路肩を歩く。景色を見る余裕もなく、ただひたすら歩く。おかげで予定より30分はやく福間駅に到着。駅前で弁当を買い、駅で友松の到着を待つ。

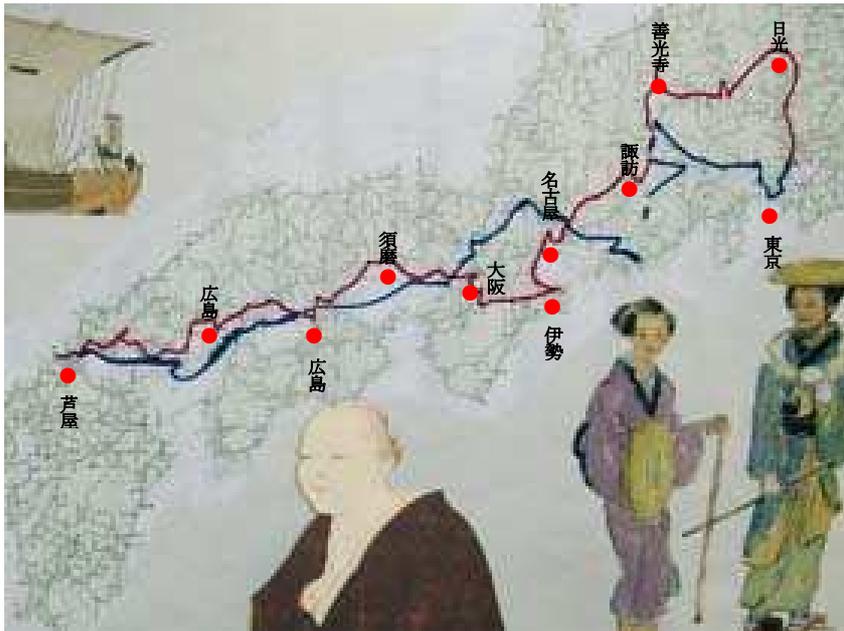
##### 〔芦屋町歴史民俗資料館見学〕（友松・和子）

JR 福間駅合流 11:27＝鹿児島本線＝11:53 遠賀川駅＝バス＝12:30 芦屋町山鹿～国民宿舎入り口の石段で昼食～13:15 芦屋町歴史民俗資料館（入館）14:00～芦屋町釜の里 15:00～山鹿郵便局前 15:33＝バス＝折尾＝鹿児島本線＝16:50 小倉駅＝岡山＝21:22 伯耆大山駅／帰宅（歩行距離にはカウントせず）

芦屋歴史民俗資料館の古地図展「古地図でたどるおかみさんの旅日記」は感動した。180年前のワングルの元祖である。もらった資料の一部を抜粋する。

(前略) この常足の指導を受けた中に芦屋の大家「米伝」の内儀、桑原久子がいた。天保12年(1841)1月、久子50歳の春、底井野の商家の内儀小田宅子(いえこ)などを誘って伊勢詣でに出て5ヶ月間、3200Kmの旅を楽しんだ。瀬戸内海では船旅。大阪、奈良、吉野では、師から指導を受けた和歌の古典に表れる歌枕の地に心ときめかせ、伊勢神宮参拝を済ませる。以後は手形なしで善光寺、日光東照宮へ足を延ばす。関所を避けながらの苦勞の末、無事に帰国。後年久子は「二荒詣日記」を、宅子は「東路日記」を書き残す。

展示された久子の旅日記を読むと、二人がただ既成の伊勢詣講(旅行社のツアー)ではなく、事前に自分で調べ、自分で計画して出かけており、目的を果たした喜びにはずんだ息遣いまで感じられた。また入り鉄砲、出女が厳しく監視された封建の時代に、意外に自由があったことにも驚きを感じた。



二人のおかみさん道中の足跡(資料館HPより転載。地名等は友松が添記)



芦屋釜の里(上) 歴史民俗資料館(下) 館員の松井恵美さん

### 5日目(12月21日) くもり時々雨

JR 伯耆大山駅 5:36=岡山=新下関=バス=10:45 唐戸~唐戸市場 11:30~関門トンネル入口~12:30 同出口~門司港(街並み散策) ~16:30JR 門司駅 16:50=小倉=岡山=21:17 伯耆大山

(距離計算で8.9Km=唐戸~関門トンネル入口[山陽道]は含まず)

唐戸で週末限定の飲食イベント活きいき馬関街へ入館。マグロやフクの握り、フクのフライなどで遅い朝食。一度食べたいと思っていたクエの握り1貫400円也を半分ずつ食べる。フグより味が濃く、もちもちした歯ごたえ。長年の願望がこんなところで実現した。雨がぱらつくなか、壇ノ浦へ急ぐ。関門大橋を潜った先が関門トンネル人道入口。入口で観光ボランティアが高杉晋作の紙芝居をしていたが、ゆっくりできないのでバス。トンネル中央に山口県/福岡県の県境。通りがかりのお嬢さん二人にシャッターを押しもらう。



唐戸市場



関門トンネル入口で紙芝居



壇ノ浦海岸



関門トンネル人道中央/山口県・福岡県境

トンネルを抜け、レトロ列車の線路にそって門司港景観街へ行き、歩きながらの観光。国際友好記念図書館で茨城から来られた林 明子さんにお会いした。地ビール工房で和子はヴァイツェン、私はピルスナーを飲む。ちょうど目の前の跳ね橋が開門。何となく外国旅行の気分。旧門司駅舎まで、関門トンネルでシャッターを押してくれたお嬢さん方に再会。地元の人かと思っていたが、旅行者でトンネルを往復してきたとのこと。雲の様子が怪しく、ピッチをあげ、予定より1本早い列車で帰る。

〔門司港レトロの街スナップ〕



関門トンネル門司側入口



門司港ジビール工房



門司港はね橋



門司港観光船



国際友好記念図書館／林 明子さん



旧税関



旧門司駅／関門トンネルで会ったお二人



旧三井倶楽部

6、費用（友松）

	第 1 回		第 2 回
	友松	和子	
交通費	31,950	27,170	27,110
宿泊費	17,400	2,300	—
食費（昼食等）	9,600	3,000	5,200
雑費（入館料等）	—	—	400
合計	58,950	32,770	30,710

以上